

# ストックホルム条約第12回締約国会議（COP12）結果概要

- 難分解性、生物蓄積性、長距離移動性等を有する残留性有機汚染物質（POPs）を国際的に規制するストックホルム条約の第12回締約国会議（COP12）が、令和7年4月に開催され、新規対象物質の追加等が議論された。

【開催日、開催地】 2025年4月28日（月）～5月9日（金）、スイス・ジュネーブ  
（バーゼル条約COP17、ロッテルダム条約COP12と合同開催）

## 【概要】

### （1）条約対象物質の追加

- ① クロルピリホス 【主な用途】 殺虫剤  
附属書A（廃絶）への追加を決定、適用除外あり（農薬等）
- ② 中鎖塩素化パラフィン 【主な用途】 金属加工油剤・難燃性樹脂原料等  
附属書A（廃絶）への追加を決定、適用除外あり（航空宇宙等）
- ③ 長鎖ペルフルオロカルボン酸（LC-PFCA）とその塩及びLC-PFCA関連物質  
【主な用途】 フッ素ポリマー加工助剤・界面活性剤等  
附属書A（廃絶）への追加を決定、適用除外あり（半導体等）

### （2）附属書掲載物質の「個別の適用除外」及び「認められる目的」の見直し

### （3）条約の有効性の評価